

奇跡の薬草「モリンガ」に期待集まる

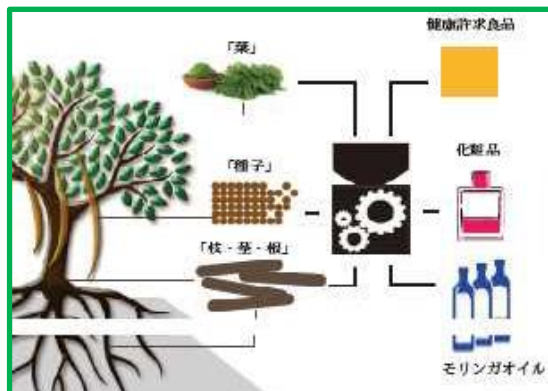
ネパールで栽培、地域の経済的自立を支援

国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」においてDRC株式会社(大阪府大阪市、高野 憲一代表取締役)が提案する「モリンガの栽培と商品化に関する基礎調査(ネパール)」を採択しました。

ネパールは1人あたりのGDPが693ドル(2013年IMF調べ)とアジアの最貧国のひとつです。総人口の6割が農業に従事しており、農業生産性と農民の収入向上が課題となっています。この状況を改善すべく、DRC株式会社はネパールの薬草「モリンガ」を現地の農民の手を借り栽培・加工することをめざした調査を行います。モリンガは栄養成分が豊富でインドなどの伝統療法アーユルベータで古くから使われてきており、健康食品や化粧品としての活用の可能性が期待されています。DRC社が持つ品質管理等のノウハウがネパールで活かされ、ネパールの支援に貢献することが期待されています。



モリンガ



モリンガの活用法(イメージ)

本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業連携事業～基礎調査～」として実施されます。本スキームは、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及びODA事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2016年度は本年2月に第1回目の公示を行い、41件の応募のうち12件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。参考:(プレスリリース)基礎調査2016年度第1回公示の採択結果について URL:<http://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 小西

TEL 078-261-0397 e-mail: Konishi.Yoko.2@jica.go.jp